

横浜市会議員 **みつる かいむら 充** 市政レポート

令和5年(2023年) 1月 第47号 討議資料

プロフィール(現在の役職)

- 市会 横浜市会議員 6期、建築・都市整備・道路委員会
大都市行財政制度特別委員会
- 自民党 自民党泉区連合支部 支部長
- その他 横浜市ボウリング協会会長、親善交流ジュニアリーグ野球連盟会長
学童野球北部球友会会長、横浜市早朝野球連盟副会長
全日本不動産協会横浜支部顧問、横浜市管工事協同組合顧問、
神奈川県宅地建物取引業協会横浜西部支部顧問、
(一社)横浜市地質調査業協会顧問、(一社)神奈川県測量設計業協会顧問



発行元：自民党泉区第五支部

2027年国際園芸博覧会基本計画

2027年国際園芸博覧会は、AIPH（国際園芸家協会）の承認及びBIE（博覧会国際事務局）の認定を受けて開催する最上位（A1）の国際園芸博覧会です。国際的な園芸・造園の進行や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催いたします。

開催の意義

SDGs目標年の3年前に開催される国際園芸博覧会として、これまでの取組の成果確認と総仕上げ、さらには2050年カーボンニュートラルの実現、気候危機への対応、生物多様性の保全・持続可能な利用など、グリーン社会の実現に貢献するため2030年以降を見据えた多様な主体の新たな取組を共有する視点を持つ必要があります。持続的な共生の為に戦略的な自然資本財の保全活用、課題を価値に転換する新領域の創出と、自然がもたらす感動や効用の次世代への継承、それを可能とする社会的な成熟が重要な鍵になると考えられ、今こそ人々が地球規模の危機を認識し、ライフスタイルを転換していく時です。人間・環境の課題解決提言の場として、時代とともに発展してきた国際園芸博覧会において、あらゆる主体が連携し、叡智を結集させ、課題解決に向けて、一人ひとりが主体的な行動を始めることが必要であり、国際園芸博覧会として開催することで、花卉園芸産業・造園業の振興や先導的なまちづくりへの貢献とともに、花や緑、農・食が身近にある幸せの暮らしの姿を示すことにより、人々の暮らし方を緑や自然環境を一層尊重するものへと変革する契機として望ましい未来の実現につなげることが出来ます。

日本と世界をつなぐ植物の文化交流を支えた横浜において、日本の美しい風土に根ざした、自然共生の知恵や、次世代の環境産業・文化創出により豊かさの質を深める社会に向け、地球環境を展望した未来志向の国際園芸博覧会を開催し、横浜市の地から友好と平和のメッセージを発信していきます。

コラム



戦後70年以上に亘り米軍に接収され土地利用が制限され都市のインフラも何もない状態で返還を受けており、旧上瀬谷通信施設のインフラ整備は国の責任において行うべきであり、私が横浜市会「基地対策特別委員会」の中で初めて『国際園芸博覧会』の誘致を提唱しました。市街化調整地域では初めての土地区画整理事業を実施し都市のインフラを整備してこそ多くの地権者の理解を頂けるのではないでしょう。

幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness

多様な主体が創りあげる圧倒的な花と緑

主催者庭園	屋外出展	屋内出展	日本国政府出展
主催者による国際園芸博覧会のシンボルとなるガーデン。季節ごとに咲き誇る花の変化が楽しめる。横浜の歴史・文化も演出	公式参加者（国や国際機関）や一般参加者が出展する庭園等。世界各国の多様な花き・園芸、造園技術や地域ごとの特色ある出展を体感	生産品や屋内庭園、フラワーアレンジメント、生け花、盆栽等の展示	日本が誇る文化や伝統とともに、今後の花と緑、農の在り方のほか、最先端の造園・緑化技術や農業技術等を世界に発信

SDGsの達成に貢献し、その先の社会も見据えた日本モデルの提示 —実現に向けた取組の方向性—



日本・横浜発の「グリーンシティ」の発信提示

都市生活が自然とともにある未来を市民・民間企業・行政が共に考え、行動を起こし、アイデアを形にする取組を展開することにより、先導的な「グリーンシティ」を提示

花き園芸・造園・農の振興



本博覧会のテーマ、活動を将来整備される公園に継承

会場の一部は公園として整備され、本博覧会の理念・テーマ等を継承・発展・発信する拠点となる。『「みどり」で広がる暮らしの風景』をテーマに、多様な主体の参画と連携により、自然と人をつなげ自然とともに生きる持続可能で多様なライフスタイルを醸成

全体概要

◆名称

2027 年国際園芸博覧会 International Horticultural Expo 2027,Yokohama,Japan
(略称『EXPO2027 YOKOHAMA JAPAN 』)

◆テーマ

幸せを創る明日の風景～Scenery of the Future for Happiness～

◆博覧会種別

A1（最上位）クラス（AIPH 承認＋BIE 認定）

◆開催場所

神奈川県横浜市 旧上瀬谷通信施設（博覧会区域は約 100ha 内、会場区域 80ha）

◆開催期間案

2027 年 3 月 19 日（金曜日）～9 月 26 日（日曜日）

◆参加者数

1,500 万人（地域連携や ICT 活用などの多様な参加形態を含む）
内、有料来場者数 1,000 万人以上

◆資金計画

会場建設費 320 億円（財源：国、地方公共団体、民間による負担）
運営費 360 億円（財源：入場料、営業権利金等）